

日本分子生物学会・ミニ・ワークショップ

-- 男女共同参画・ネットワークづくりに向けて--

大学・企業・国研・・・能力を発揮できるのはどこだ！！
生き延びるために、あなたなら、どこをえらぶ！？

21世紀の我が国の進むべき社会は「男女共同参画社会」！！その理念のもとに、平成11年6月に「男女共同参画社会基本法」が交付・施行されて既に3年半、女性と男性が共に個性と能力を発揮できる環境を整えるために、私たちは、まず、何をしたらよいのでしょうか？分子生物学会では「男女共同参画・ネットワークづくり」に向けて、以下のようなミニ・ワークショップを企画しました。

すでに、男女共同参画に関するアンケート調査とその解析を終えた、日本動物学会と日本応用物理学会の方を講師としてお招きし、アンケート調査結果についてお話ししていただきます。企業と大学では、女性研究者が持つことのできる子供の数も、昇進のスピードもこんなに違う！！なんて、驚くべき結果も出ています。

日時：平成14年12月13日（金）正午～午後1時半

場所：パシフィコ横浜年会会場 5階 514号室

講師：

- ・窪川かおる氏（東京大学・海洋研・助手）
「動物学会女性研究者懇談会」アンケート調査について
- ・渡辺美代子氏（東芝研究開発センター・環境技術・分析センターグループ長）
応用物理学会員の現状と課題－男女共同参画委員会アンケート報告より

お二人の講師に25分ずつ講演していただき、残る30分を討論にあてる予定です。多くの皆様のご参加と、活発な討論を期待しています。参加者は勿論男女を問いませんし、昼食時の集まりなので、ランチ持ち込みで構いません。

オーガナイザー：

- 「男女共同参画学協会 連絡会」日本分子生物学会・連絡委員
荒木 弘之（国立遺伝学研究所）
大坪久子（東京大学・分子細胞生物学研究所）